

## 新興市場における一筋の光は？

新興市場の地合いの悪さは、眼を覆いたくなるほどです。それもそのはず、決算発表のピークを通過した8月8日時点での数値ですが、3月決算企業の経常利益前年同期比は、東証1部が15%減、新興3市場が46%減なのです。

ただし、新興市場の銘柄が全て悪い訳ではありません。数が多いわけではありませんが、東証1部銘柄を凌ぐ銘柄も散見されます。今回は時価総額上位銘柄の中から、ファンダメンタルズとテクニカルのバランスが取れた銘柄をピックアップしてみたいと思います。具体的にはセブン銀行<8410>であり、次点候補として楽天<4755>を挙げることができます。なお、時価総額上位であれば、流動性の欠如に苦しむこともありません。

コード	社名	ファンダメンタルズ 分析判定	テクニカル・需給 分析判定	総合判定 7月18日	総合判定 8月12日	時価総額 (億円)
4689	ヤフー	60.5	19.2	C	D+	22,972.7
4755	楽天	90.9	65.0	C	B+	7,508.1
4817	JCOM	45.4	39.0	C+	C-	5,771.1
8410	セブン銀行		74.4	B-	B+	3,156.1
6425	アルゼ	90.0	41.5	C+	B-	2,758.7
2702	マクドナルド	90.8	29.5	E+	B-	2,114.1
2142	USJ	27.7	27.9	D	D	1,327.5
8697	大証	33.4	27.9	C-	D	1,201.5
2174	GCA		20.9	E+	D-	1,116.2
3048	ビックカメラ	15.6	52.6	C-	D+	1,102.7

### セブン銀行<8410> 258,700 +3,800

[http://www.laqqo.com/login/analyze/karute\\_funda.php?code=8410&marketid=6](http://www.laqqo.com/login/analyze/karute_funda.php?code=8410&marketid=6)

セブン・イレブン店舗内などを中心にATMを展開。8月1日に発表された第1四半期経常利益は、前年同期比33.8%増の74.6億円となりました。ATMの地域展開がほぼ完了していることによる減価償却負担軽減が寄与したようです。09年3月期は中間期で前年同期比8.8%の経常増益、通期で同2.6%増の経常増益が予想されていますが、それを上回る利益の伸びを達成したことになります。前期累計の経常利益は前期比1.4%の減益であり、成長スピードも加速していることが想定されます。

さて、この会社、銘柄カルテではファンダメンタルズ点数がありません。銘柄カルテでは、IPOしたての企業の同点数が出ない仕様になっています。ただし、上記業績を見ても、その増益率は通常であれば高い点数が付与されることを容易に想定できます。総じてアナリストの評価が高いこと、時価総額が大きいことも加味すれば、ファンドの買いも期待できるでしょう。